

「大学と社会のこれからの関係性： 研究者に求められるパブリック・エンゲージメントとは」

Christopher Coe

Director of Public Engagement
King's College London

日時: 2014年7月24日(木) Thu 24 July 2014 15:00-16:30

場所: 工学部2号館1F 211講義室 Eng.Bldg.2-211

グローバル化と急激な社会変化の中、日本においても英国においても
知の創出と人材育成の拠点であるべき大学への期待が高まりつつあり、
教育・研究活動の多様な側面において、社会の要求に応える形での
大学改革が求められています。社会における高等教育の存在意義を常
に試される局面を迎え、日英両国でも、大学と社会が相互に信頼関係を
深め、新しい連携の形からこれまでにない知識を生み出し、互いに発展
を遂げるためには、どのような取り組みが求められるのか本格的な議論
が始まっています。

当セミナーでは、英国ロンドン大学のキングス・カレッジよりパブリック・
エンゲージメント、ダイレクターのクリス・コー氏を招き、英国においてな
ぜ今大学のパブリック・エンゲージメントが促進されているのか、これか
らの研究者として、どのように社会と関わり、大学における研究を社会
へ還元し、また社会と共に知を創造していくべきか、などについてお話し
します。

当日のセッションでは、まず上記の点について説明したのち、ワーク
ショップ形式で参加者の方々にもご参加いただき、それぞれの専門分野
において、どのようにパブリックとの関係性を築けるのかについて議論し
ます。

(セッションは全て英語で行われます)

※Public Engagement

英国の高等教育政策の中で、大学と社会の間での相互関与を表すためにつか
われている表現。対象とする"Public"には一般大衆、市民団体、公共団体産業
界などを含み、非常に幅広い。英国においては、大学の組織文化の中に、
Public Engagementを根付かせ、大学と社会が共存共栄できる仕組みを構築す
ることを目的に、様々な取り組みが行われている。



Christopher Coe
Director of Public Engagement
King's College London

コミュニケーション・ディレクターとして
1999年にキングズ・カレッジ・ロンドンに入
職。2011年、パブリック・エンゲージメント
の機能を確立する責務を負う大学初のパ
ブリック・エンゲージメント・ディレクターと
なった。パブリック・エンゲージメントの文
化を大学に根付かせるため、関連活動へ
のさまざまな支援を行うとともに、博物館
や科学フェスティバルのような外郭団体と
の連携活動を運営し、フード&アイデアフ
ェスティバルといった学内の活動運営に
も取り組んでいる。